

# 令和元年度

## 第2回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

日 時 令和2年1月28日(火) 14:00~15:25

場 所 中央区立環境情報センター研修室

資料1 中央区環境行動計画2018評価基準(案)

資料2 個別計画の目標に基づく採点基準

資料3 評価項目の重み

資料4 評価案の概要

資料5 評価案

### ●区

資料4のようなイメージに基づき、平均値による評価を公表する。

なお、重みによる評価は、委員会内部での協議用とし、特に公表はしない。

また、本日欠席の委員から、次のようなコメントが寄せられているので、本日、この場で共有させていただきます。

#### ※委員コメント

総合評価の結果に影響が出ないよう、端数の扱いに配慮していただきたい。

なお、端数については、小数点以下を統一するなどの対応をしていきたい。

### ●委員

資料5 基本目標2 No.7「区内のごみ量」が増加する一方、No.6「従業員1人1日当たりの可燃ごみ排出量」やNo.4「家庭ごみ1人1日当たりの排出量」は減少しており、それぞれの状況を分析した説明が必要である。

### ●委員

採点結果、特に「重み×点数」の数値に着目すべきであり、重みが高いのに点数が低い項目は、さらなる努力を意味すると言える。

また、重みが低いのに点数が高いケース、例えば、基本目標1 No.1「コミュニティサイクル」やNo.4「中央エコアクト(家庭用)」は、このまま地道に進めていくのか、もう少しテコ入れすべきかななどの議論ができる。

### ●委員

基本目標3 No.7「緑化助成の推進」の増加率がとても高いが、今回だけか、今後も続くかどうかの分析も必要だと思う。

●委員

同じ目標のNo.2「区施設の緑化推進（壁面緑化）」は、重みも点数も低いですが、今後の見通しはどうなのか。

●区

大規模改修や施設の更新がない限り、件数の増加は見込めない。

●委員

基本目標1 No.7「公園灯・街路灯のLED化」は、全体の総数を示してもらえると、具体的な進捗状況が把握しやすいと思う。

●委員

同じ目標のNo.9「中央区の森事業」は、区民の認知度なども参考になると思う。

●委員

「中央区の森事業」は、環境教育的な効果もあると言える。

●区

評価の参考となるデータがあれば、できるだけ情報提供するようにしていきたい。

●委員

重みによる評価は公表しないのか。

●区

重みによる評価は、区民にはわかりにくいと思う。

また、委員の意識の度合いは、今後、区がどう取り組むべきかの尺度と捉えるべきで、評価の結果まで公表する必要はないと考えている。

●委員

委員の意識に重みを付け、自分たちが何らかの形で評価に参加する意義は大きい。

そうしたプロセスは、きちんと公表していったほうがよいと思う。

いずれにせよ、資料4のように、評価の結果だけを示すのは、不十分と言える。

●委員

徐々に評価の回数を重ねていけば、いろいろと傾向が見えてくると思う。

●委員

重みによる評価を全て公表する必要はないと思うが、採点基準などの根拠はきちんと示すべきである。

また、項目の全てを出さずとも、重みの高いものなど、特徴的なものを選んで説明すればよいと思う。

●委員

事務的な負担もあると思うので、重点項目に絞った公表のやり方もある。

どこまで公表するか否かを議論するため、次回に公表の原案を示してもらいたい。

ただし、委員会内での検討資料は、全ての評価項目の進捗状況を示してほしい。

●区

重みのアンケートは毎回行うのか。

●委員

メンバーが変わらなければ、その必要はないと思うが、どの時点の調査かは明記したほうがよい。

●委員

今回のアンケートの結果を見て、予想どおり上位のもの、もっと上位に来るはずのものなど、意外な部分もあった。

●委員

区民の感覚から見て、もっと重要なものがあるかもしれない。

結果次第では、自分たちの立場が問われるのではないかの懸念はある。

●委員

国（国交省）のマニュアルでも、自分たちの立場が相応しいと示されており、各委員がそれぞれの視点で考えればよいので、あまり気にする必要はないと思う。

●区

本日の議論を踏まえ、次年度の進め方について、まとめていただきたい。

●委員

1. 公表の原案を提示する。

(1) 評価結果を示しただけの内容としない。

(2) 評価の根拠となる基準を載せる。

(3) 基本目標ごとに、各項目の取組状況を分析するが、重みの高い項目など、特徴的なものを中心に載せる。

2. その他検討資料は、資料5のように、全ての評価項目の進捗状況を提示する。

3. 重みに関するアンケートは、メンバー交代がなければ、特に改めて行わない。

以上